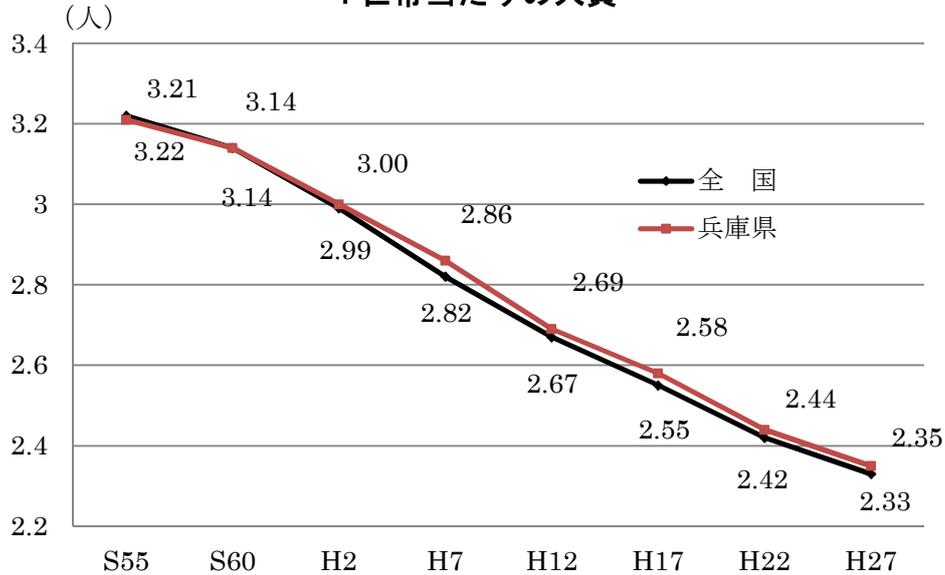


(参考資料)

家庭と地域に関するデータ集

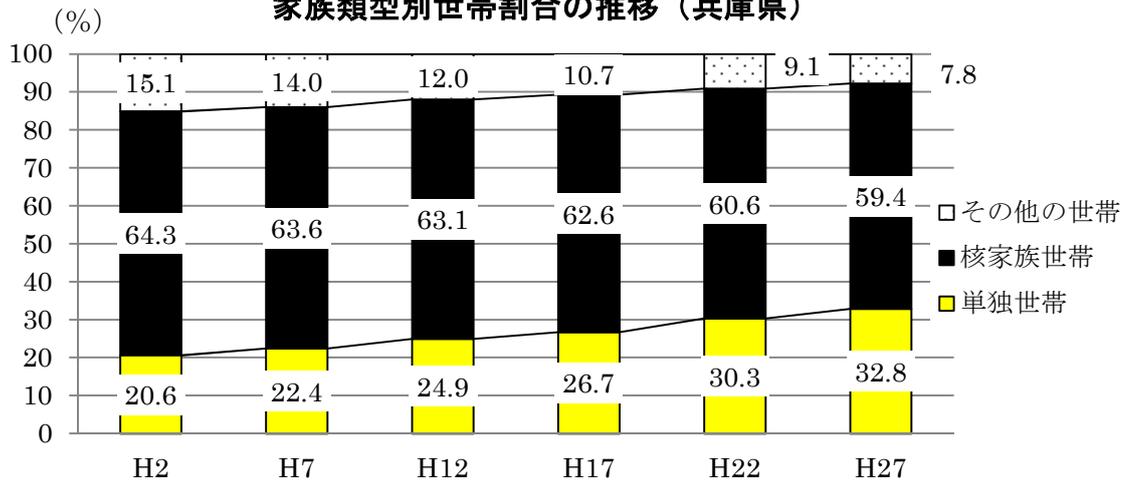
1 家族の小規模化

1 世帯当たりの人員



資料出所：総務省統計局「国勢調査」

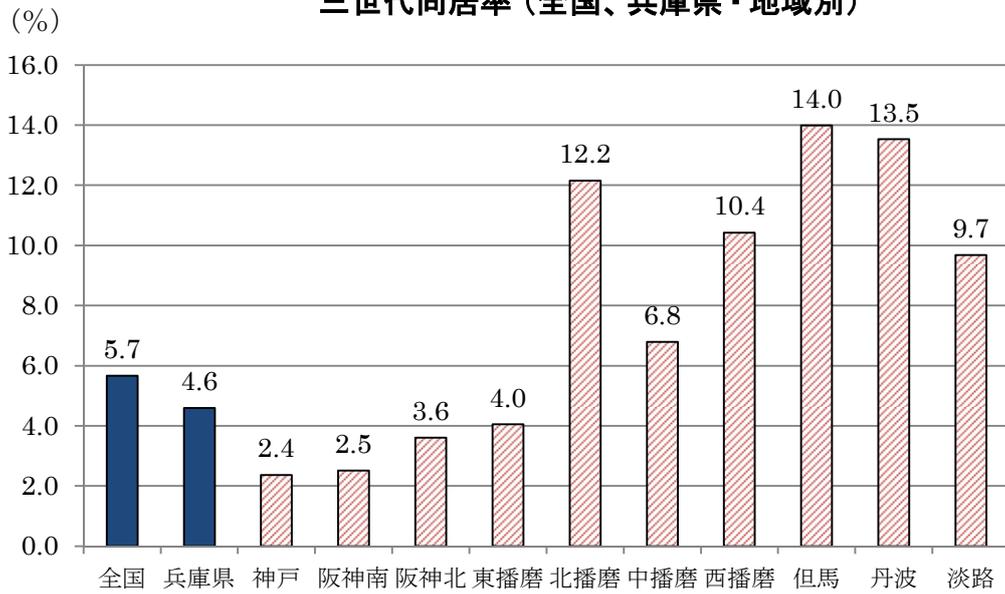
家族類型別世帯割合の推移（兵庫県）



資料出所：総務省統計局「国勢調査」

注) 平成2年～平成12年の数値は、平成22年以降の家庭類型の定義に合わせて組み替えて集計している。

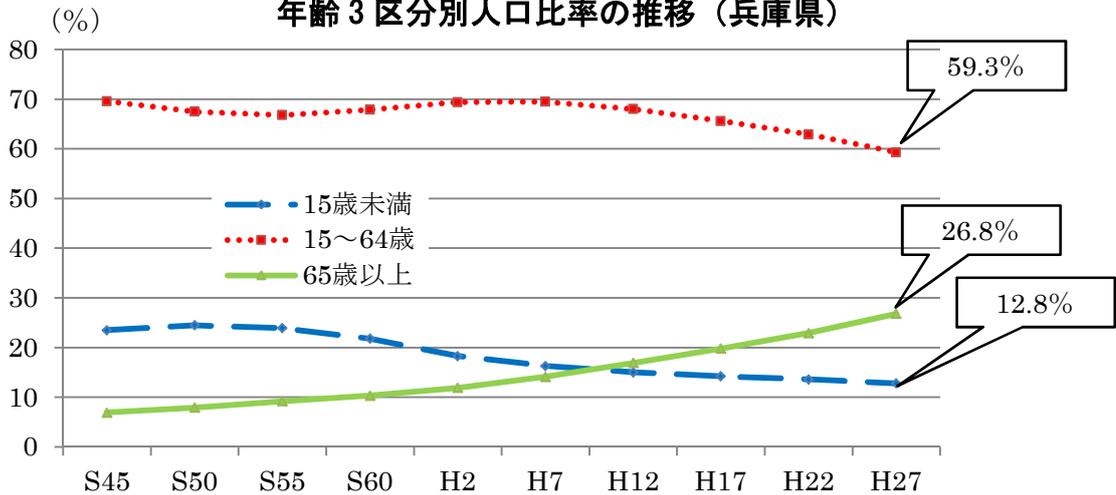
三世代同居率（全国、兵庫県・地域別）



資料出所：総務省統計局「平成 27 年 国勢調査」

2 少子高齢化の進展

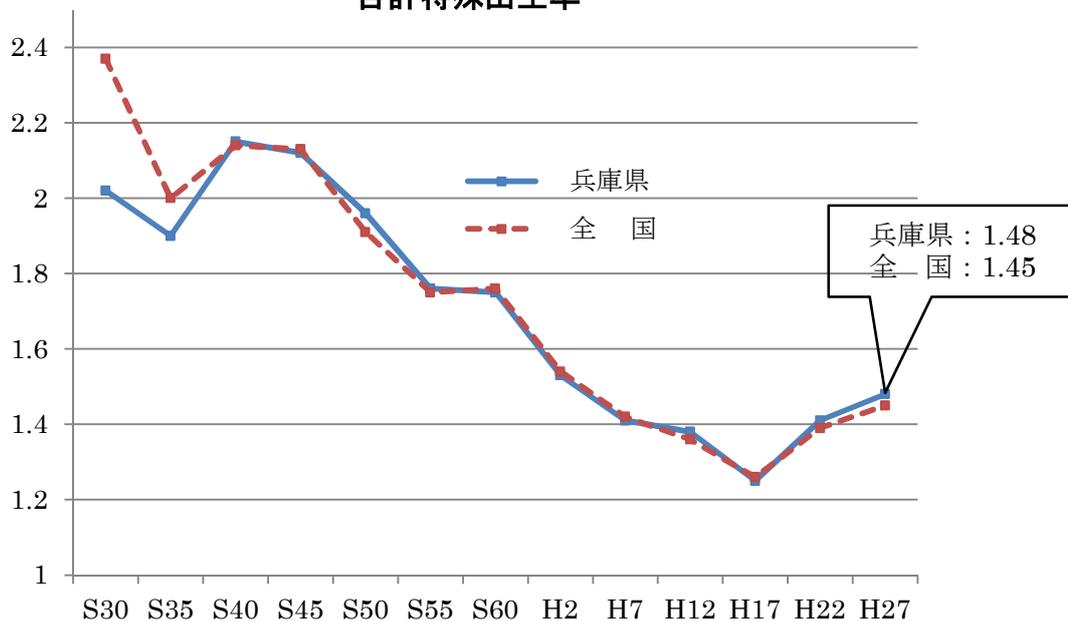
年齢 3 区分別人口比率の推移（兵庫県）



資料出所：総務省統計局「国勢調査」

※年齢 3 区分別人口割合は年齢不詳があるため合計は 100%にならない。

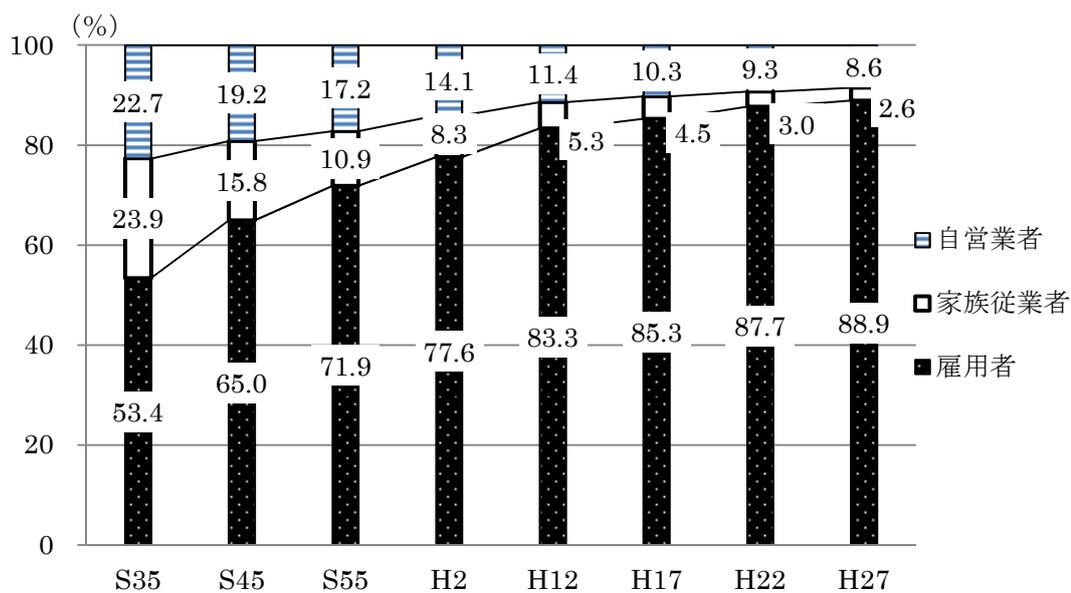
合計特殊出生率



資料出所：厚生労働省「人口動態統計」

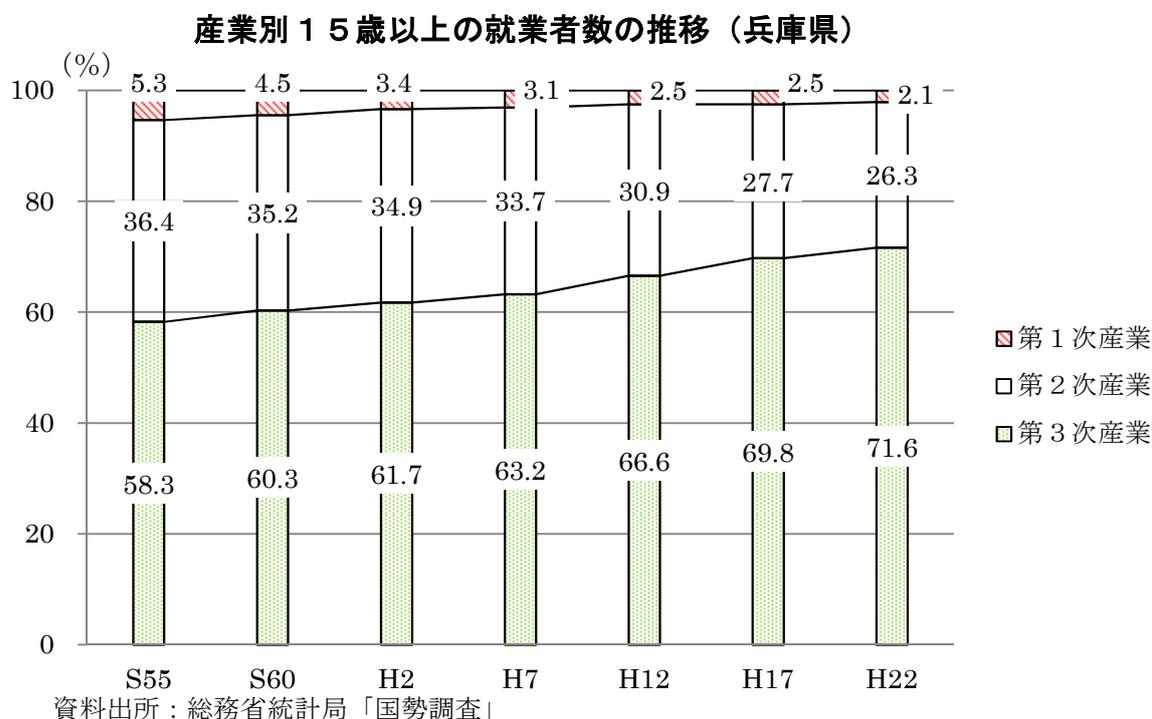
3 サラリーマンの増加

従業上の地位別就業者数の構成比の推移（全国）

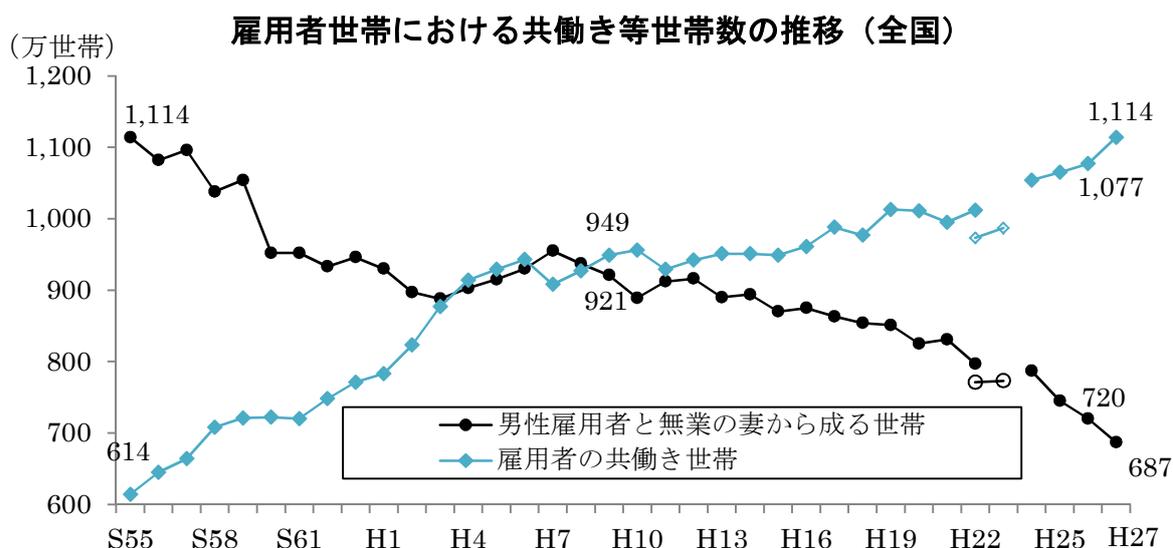


資料出所：総務省統計局「労働力調査」

4 第1次産業人口の減少



5 共働きの増加



資料出所：内閣府「平成27年度男女共同参画白書」

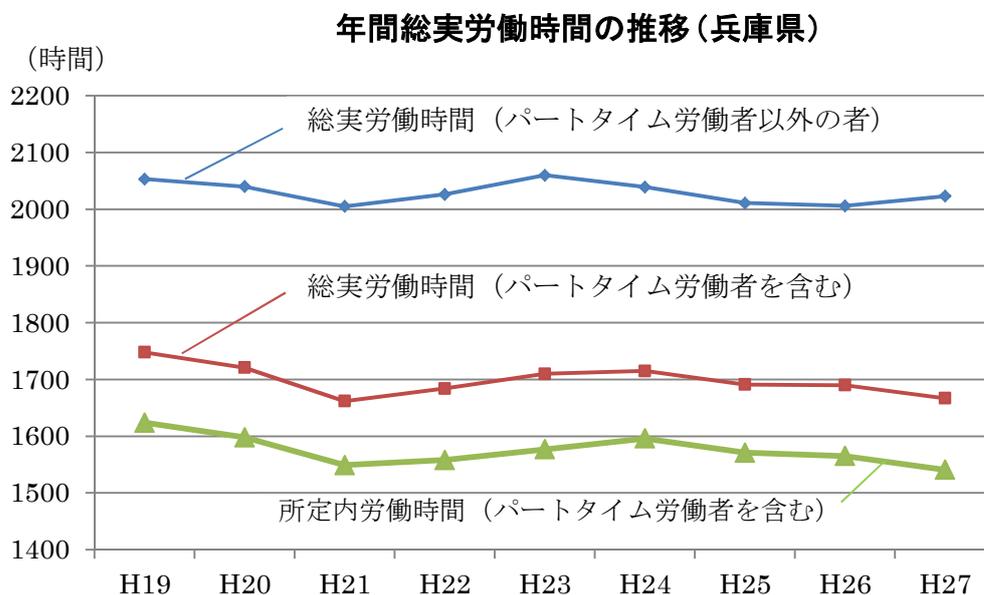
※1 昭和55年から平成13年は総務省「労働力調査特別調査」（各年2月。ただし、昭和55年から57年は各年3月）、14年以降は「労働力調査（詳細集計）」（年平均）より作成。

※2 「男性雇用者と無業の妻からなる世帯」とは、夫が非農林業雇用者で、妻が非就業者（非労働力人口及び完全失業者）の世帯。

※3 「雇用者の共働き世帯」とは、夫婦共に非農林業雇用者（非正規の職員・従業員を含む。）の世帯。

※4 平成22年及び23年の値（白抜き表示）は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の結果。

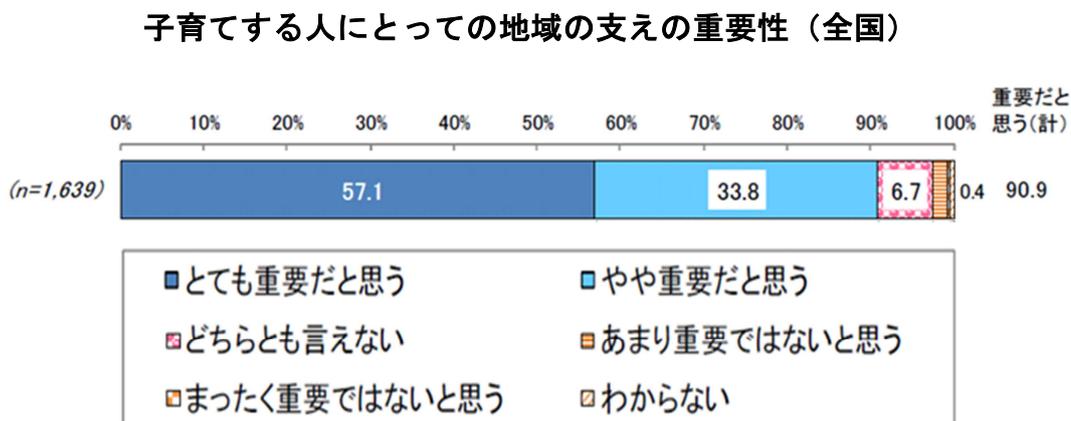
6 労働時間



資料出所：厚生労働省「毎月勤労統計調査」

(注) 事業所規模 5人以上

7 子育て支援環境づくりについての意識



資料出所：内閣府「家族と地域における子育てに関する意識調査・平成25年度」

地域で子育てを支えるために重要なこと（全国）

	わからない	特にな	その他	子どもに自分の職業体験や人生経験を伝える人や場があること	子育て家庭の家事を支援する人や場があること	小中学校の校外学習や行事をサポートする人がいること	子どもにスポーツや勉強を教える人や場があること	地域の伝統文化を子どもに伝える人や場があること	不意の外出や親の帰りが遅くなる人や場があること	子どもと一緒に遊ぶ人や場があること	子育てに関する情報を提供する人や場があること	子どもと大人が一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどがあること	子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの場があること	子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること	子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること
(n=1,639)	0.7	1.0	0.2	24.5	24.6	28.8	32.3	36.1	40.7	42.0	45.1	45.8	54.5	58.1	64.1

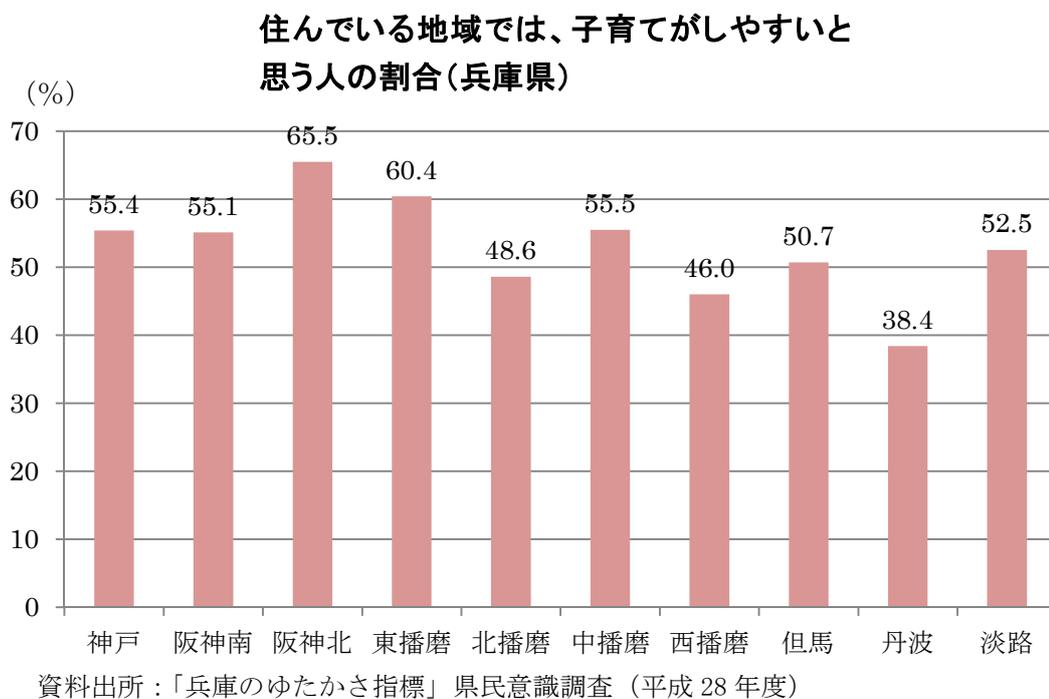
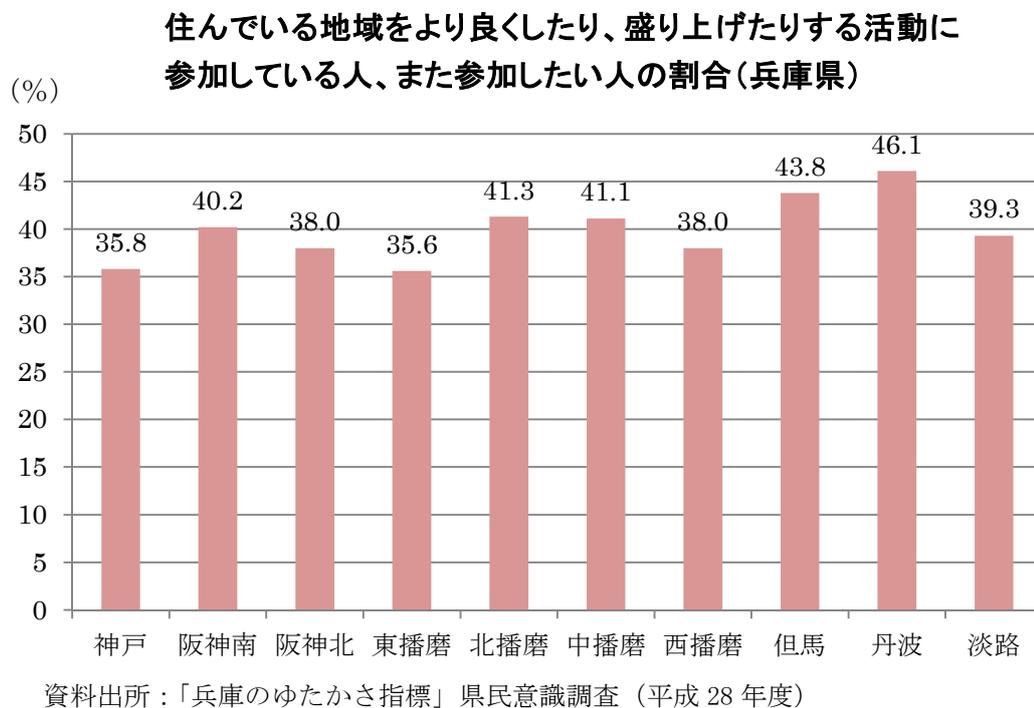
資料出所：内閣府「家族と地域における子育てに関する意識調査・平成25年度」

参加したい子育てに関する活動（全国）

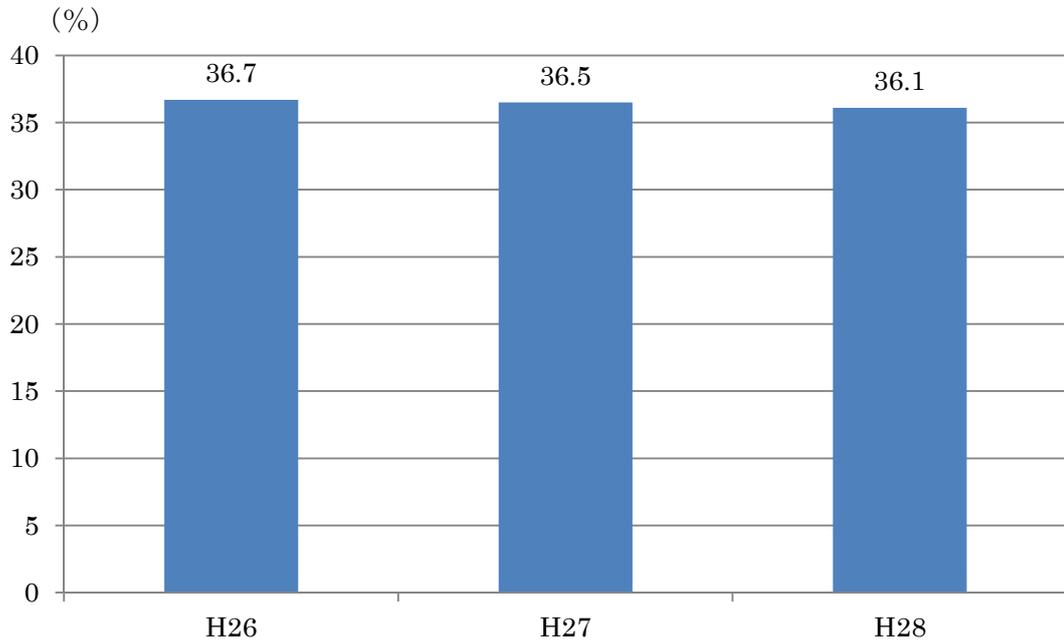
	わからない	特にな	その他	子育て家庭の家事を支援する活動	子どもに自分の職業体験や人生経験を伝える活動	小中学校の校外学習や行事をサポートする活動	子育てに関する悩みについて相談にのる活動	地域の伝統文化を子どもに伝える活動	子育てに関する情報を提供する活動	不意の外出や親の帰りが遅くなる人や場などに子どもを預かる活動	子どもにスポーツや勉強を教える活動	子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動	子どもと一緒に遊ぶ活動	子どもと大人が一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどを行う活動	子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動
(n=1,639)	1.5	12.0	0.2	8.2	16.2	16.8	17.9	18.1	18.6	20.0	23.7	25.1	32.1	36.3	41.4

資料出所：内閣府「家族と地域における子育てに関する意識調査・平成25年度」

8 県民意識調査の状況



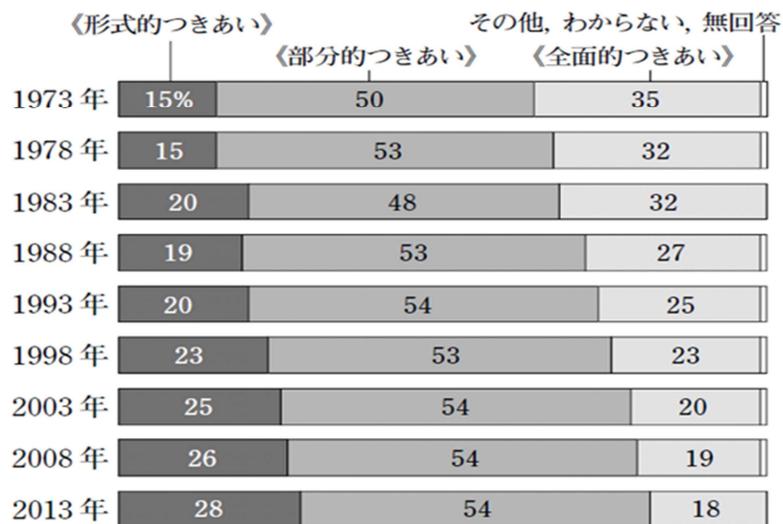
住んでいる地域では、心の豊かさを育む教育や活動が行われていると思う人の割合(兵庫県)



資料出所：「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査（平成 28 年度）

9 地域の人間関係

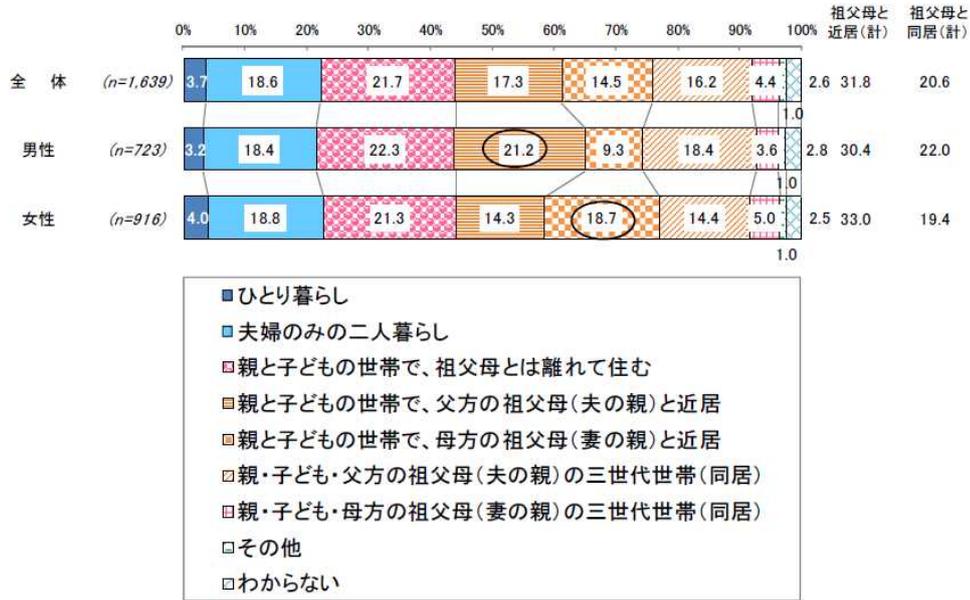
人間関係（隣近所）（全国）



資料出所：NHK 放送文化研究所「第9回 日本人の意識調査・2013」

10 理想の家族の住まい方

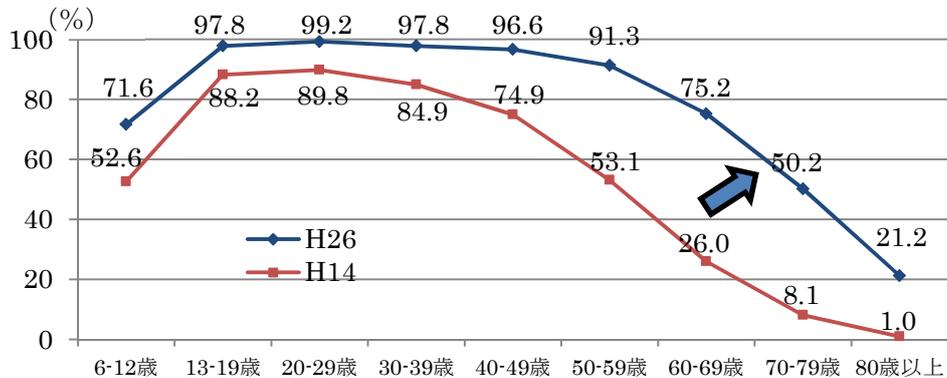
理想の家族の住まい方（全国）



資料出所：内閣府「家族と地域における子育てに関する意識調査・平成25年度」

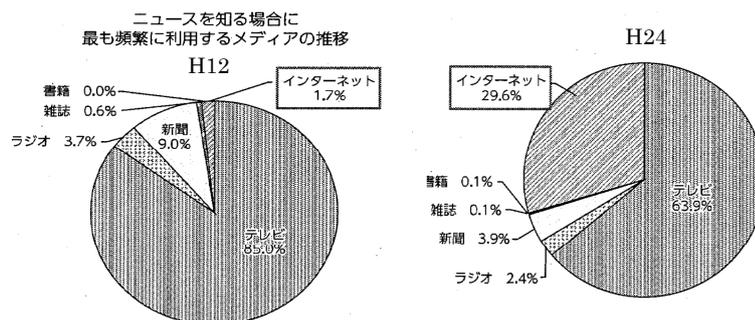
11 情報化社会の進展

インターネット利用率の向上（年代別、H14・H26）（全国）



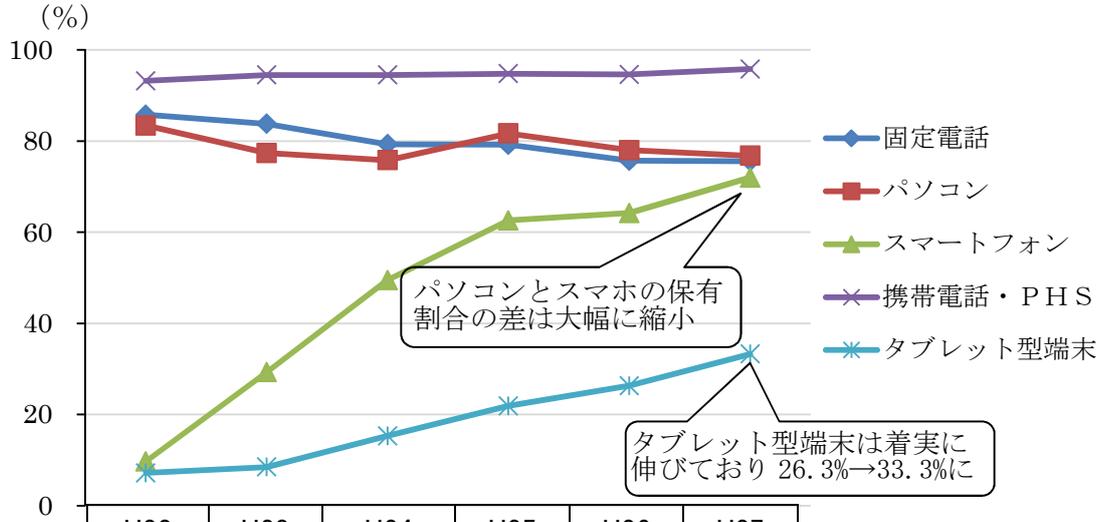
資料出所：総務省「情報通信白書」

情報収集活動におけるネットの進展（全国）



資料出所：総務省「情報通信白書」

主な情報通信機器の保有状況（世帯）（全国）

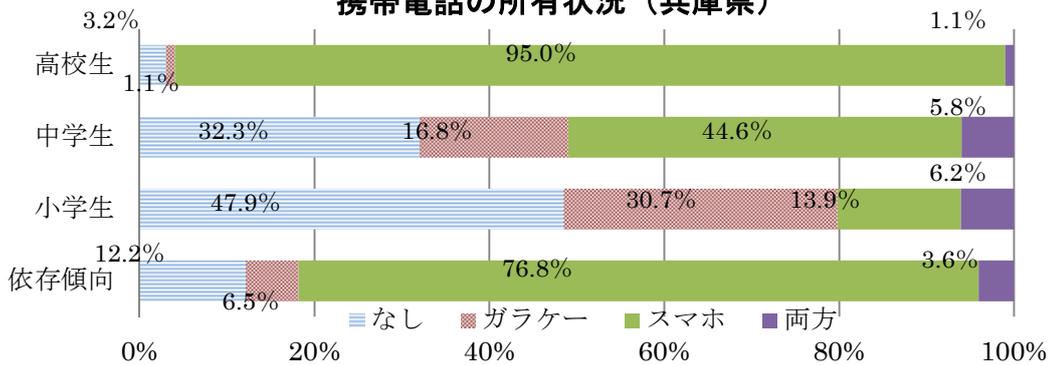


	H22	H23	H24	H25	H26	H27
固定電話	85.8%	83.8%	79.3%	79.2%	75.7%	75.6%
パソコン	83.4%	77.4%	75.8%	81.7%	78.0%	76.8%
スマートフォン	9.7%	29.3%	49.5%	62.6%	64.2%	72.0%
携帯電話・PHS	93.2%	94.5%	94.5%	94.8%	94.6%	95.8%
タブレット型端末	7.2%	8.5%	15.3%	21.9%	26.3%	33.3%

資料出所：総務省「H27年通信利用動向調査」

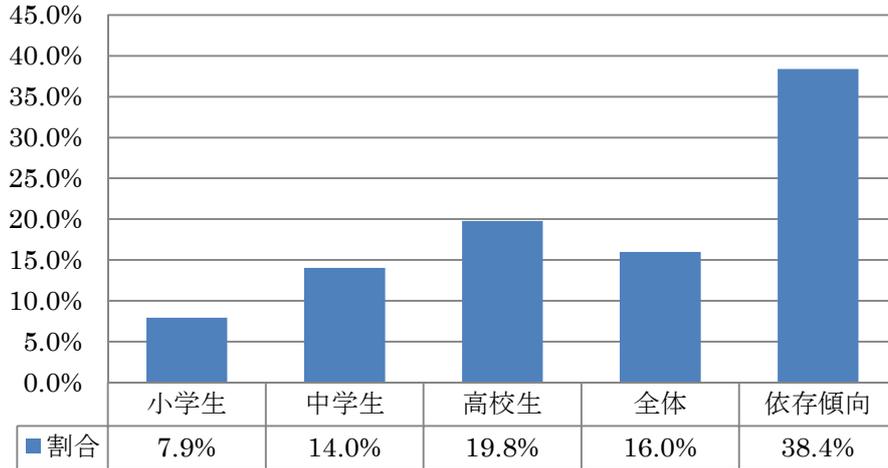
※当該比率は、各年の世帯全体における各情報通信機器の保有割合を示す。

携帯電話の所有状況（兵庫県）



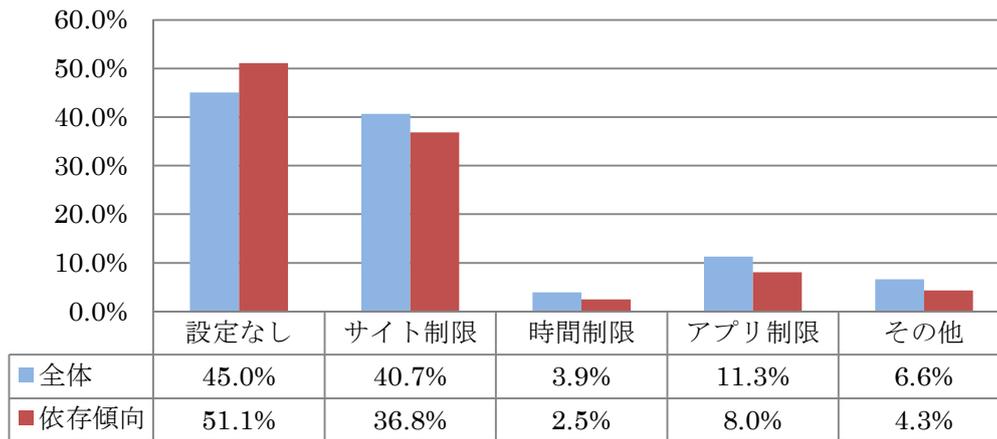
資料出所：H28 兵庫県青少年課調べ（※県内約 4,500 人にアンケート）

インターネットの1日の利用時間 (4時間以上利用者)(兵庫県)



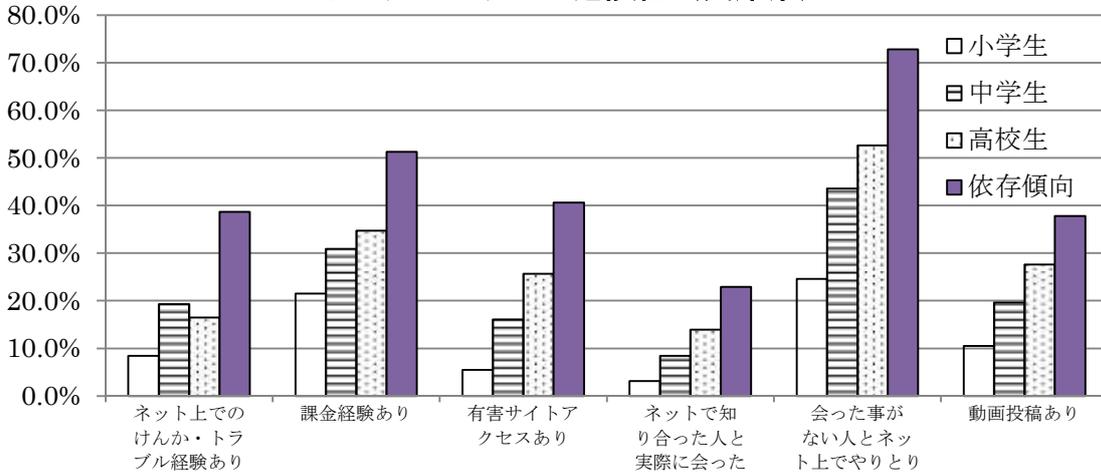
資料出所：H28 兵庫県青少年課調べ
※県内約 4,500 人にアンケート

フィルタリング利用状況 (兵庫県)



資料出所：H28 兵庫県青少年課調べ
※県内約 4,500 人にアンケート

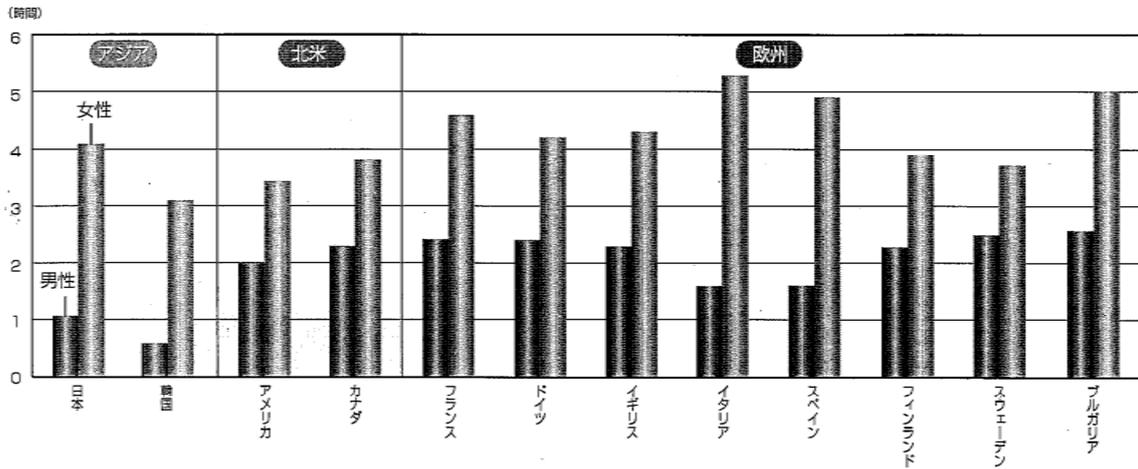
インターネットの危険性（兵庫県）



資料出所：H28 兵庫県青少年課調べ（※県内約 4,500 人にアンケート）

1 2 家事時間の国際比較

男女別にみた家事関連時間の各国比較（全国）



(注) ・「家事関連時間」とは、家事、育児、介護、買い物などをいう。
 ・各国の生活時間は、平成23年5月時点で入手可能なデータのうち最新の年次のものである。
 ・国によって定義等に相違があるため、比較には注意を要する。

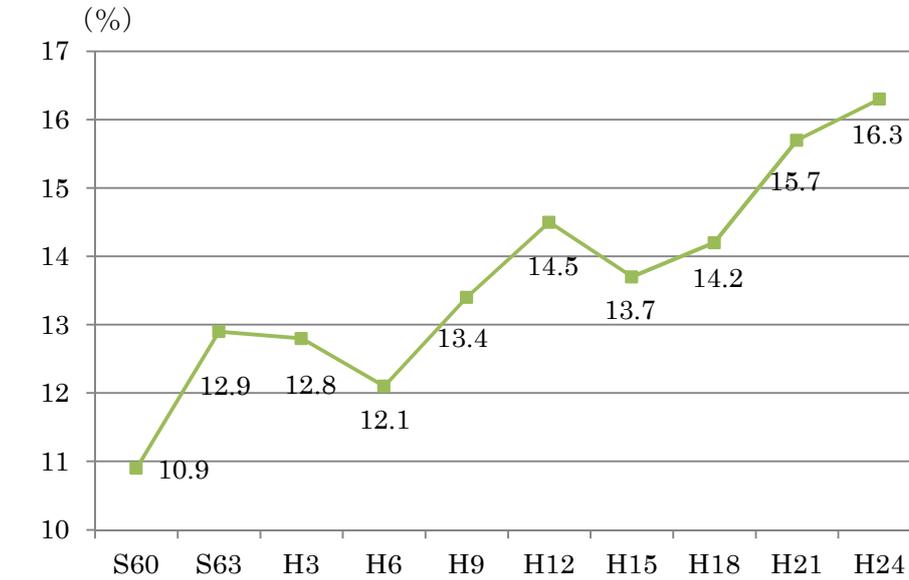
男女別みると、日本では男性の家事関連時間が他国に比べて短くなっています。

①日本 2006年、10歳以上（調査票Bの結果から国際比較用に組み替え）
 ②韓国 2009年、10歳以上 出典：2009 Time Use Survey
 ③アメリカ 2005年1月～12月、15歳以上 出典：2009 BLS News
 ④カナダ 2005年1月～12月、15歳以上 出典：2005 General Social Survey
 ⑤フランス 1998年2月～1999年2月
 ⑥ドイツ 2001年4月～2002年3月
 ⑦イギリス 2000年6月～2001年7月
 ⑧イタリア 2002年4月～2003年3月
 ⑨スペイン 2002年10月～2003年10月
 ⑩フィンランド 1999年3月～2000年3月
 ⑪スウェーデン 2000年10月～2001年10月
 ⑫ブルガリア 2001年10月～2002年10月
 ※⑩～⑫は20～74歳のデータである。

資料出所：総務省統計局「社会生活基本調査」

1.3 貧困率

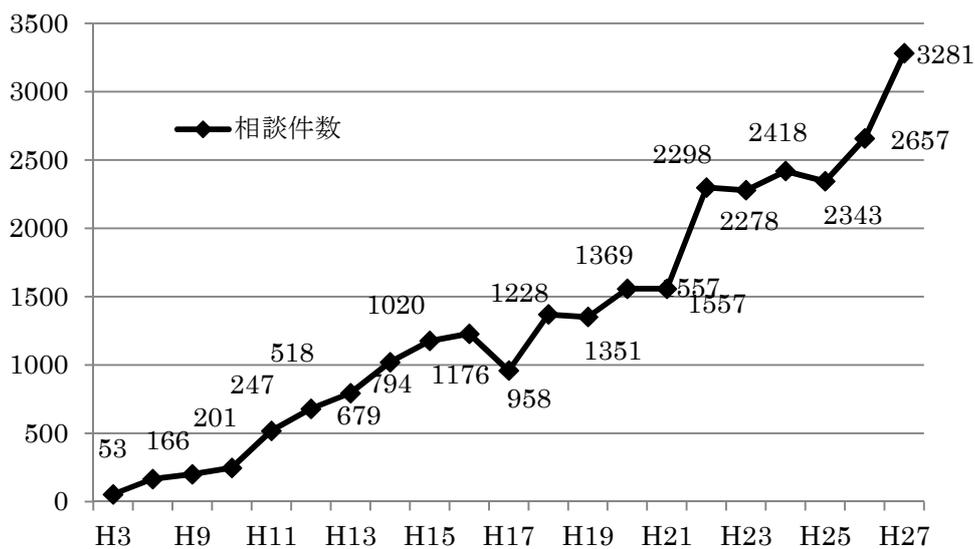
子どもの貧困率の推移（全国）



資料出所：内閣府「平成 27 年版子ども・若者白書」

1.4 児童虐待

児童相談所における児童虐待相談受付件数（兵庫県）



資料出所：兵庫県児童課調べ

※県のこども家庭センター（県下 5 施設）および神戸児童相談所で受け付けた児童虐待に係る相談件数

平成 28 年度県民意識調査「ひょうごの少子対策・子育て支援」の調査結果（抜粋）

平成 28 年度県民意識調査は、毎年調査項目に加え「ひょうごの少子対策・子育て支援」を年次テーマに調査を実施し、結果をとりまとめました。

調査結果については、誰もが安心して子育てができる地域社会の実現に向け、「ひょうご子ども・子育て未来プラン」や「兵庫県地域創生戦略」のフォローアップに活用します。

1 調査概要

- (1) 調査対象 県内に居住する満 20 歳以上の男女個人
 (2) 対象数 5,000 人
 (3) 調査時期 平成 28 年 8 月 29 日(月)～9 月 20 日(火)
 (4) 回収数(率) 2,807 人 (56.1%)
 (5) 設問構成 年次テーマ項目と毎年調査項目により構成

①年次テーマ項目

ア 子育てへの地域の支え イ 結婚観・子育て観 ウ 少子化の原因
 エ 子育てと仕事の両立 オ 行政への意見・要望

②毎年調査項目

ア 生活満足度 イ 生活向上感 ウ 大地震発生の可能性
 エ 地域活動への参加 オ 県政への関心 カ 県政への評価
 キ 県民局・県民センターの認知度

(参考：属性別回収数・率)			
性別	男性	1,122	47.3%
	女性	1,637	62.3%
	不明	48	—
年代別	20 代	216	37.2%
	30 代	304	43.8%
	40 代	416	49.1%
	50 代	451	60.8%
	60 代	640	70.3%
	70 代	470	68.1%
	80 歳～	260	48.6%
	不明	50	—

2 調査結果の概要

(1) 年次テーマ項目

項目	結果概要
子育てへの地域の支え	(子育てする人にとっての地域の支えの重要性) ・「とても重要(62.9%)」が最も高く、次に「やや重要(25.4%)」が高くなっており、約9割の人が子育てに地域の支えが重要であると考えている。 ・「とても重要」と考える世代は20代が最も高く(73.0%)、次に30代が高い(70.8%)。
	(子育て支援活動への参加希望の有無) ・「どちらかといえば参加したい(33.3%)」が最も高い。「現在参加している」、「参加したい」と「どちらかといえば参加したい」を合わせた『参加意欲がある』の割合は54.9%である。 ・『参加意欲がある』は30代が最も高く(67.2%)、次に20代が高い(60.6%)。
	(子育て支援活動へ参加しない理由) ・「時間がとれないから(49.6%)」、「いつ、どこで活動しているか分からないから(48.3%)」、「一人では参加しにくいから(42.6%)」が上位を占めた。
	(地域で子育て支援が活発になるために重要なこと) ・「子育て支援の情報(47.9%)」、「子育て支援ができる場所(47.5%)」、「近隣や自治会等の理解や協力(44.4%)」が上位を占めた。
	(地域の子育て環境であてはまるもの) ・「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りがされている(57.9%)」が最も高く、次に「子育てをする親同士で話ができる仲間がいる(44.0%)」が高い。

項目	結果概要
結婚観・子育て観	<p>(結婚観)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもを生み、育てる基盤となる(52.5%)」、「精神的な安らぎがある(49.6%)」が多い。 ・結婚観に対する男女差の大きいものは、「好きな人と明るく楽しい生活が送れる(男性40.7%、女性25.6%)」(15.1ポイント差)、「忍耐が必要(男性36.1%、女性46.6%)」(10.5ポイント差)である。 ・「忍耐が必要」は、結婚後に相手と離別又は死別した者(46.1%)と未婚者(49.0%)において最も多い。 ・「自由に使えるお金や時間、行動が制約される」は、未婚者が最も多い(31.7%)。
	<p>(子育て観)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの成長に喜びを感じられる(70.7%)」が最も多い。「責任が増す(45.5%)」、「自分自身が成長する(40.8%)」が続いた。 ・子育て観に対する男女差の大きいものは、「家族が増え明るく楽しい生活が送れる(男性34.4%、女性21.8%)」(12.6ポイント差)、「自分自身が成長する(男性33.4%、女性45.9%)」(12.5ポイント差)である。
少子化の原因	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活費や教育費など、経済的な不安(48.6%)」、「晩婚化による出産年齢の上昇(48.4%)」、「子育てと仕事の両立の難しさ(46.2%)」が多い。 ・「生活費や教育費など、経済的な不安」は20代が他の世代より多い(61.6%)。 ・「晩婚化による出産年齢の上昇」は70代が他の世代より多い(53.0%)。
子育てと仕事の両立	<p>(女性が子育てをしながら働く場合に困難な点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「仕事をしている間、子どもを預ける人や施設の確保が難しい(68.3%)」が最も多い。続いて「病気やけがなど、子どもの緊急時に対応しにくい(56.1%)」、「職場に時短勤務や休みを取りにくい雰囲気がある(42.4%)」が多い。 ・男女差の大きいものは、「病気やけがなど、子どもの緊急時に対応しにくい(男性47.3%、女性61.8%)」(14.5ポイント差)である。
	<p>(育児休業取得促進に必要なこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「職場の上司や同僚の理解(70.1%)」が最も多い。次に「経営者の意識等の改革(54.7%)」が多い。

3 調査結果

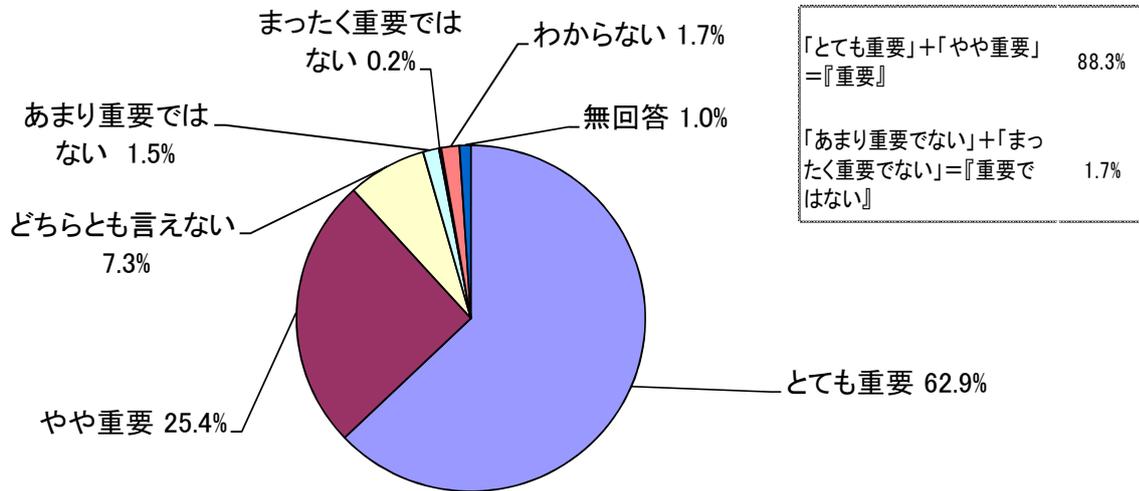
設問及び調査結果

子育てへの地域の支え

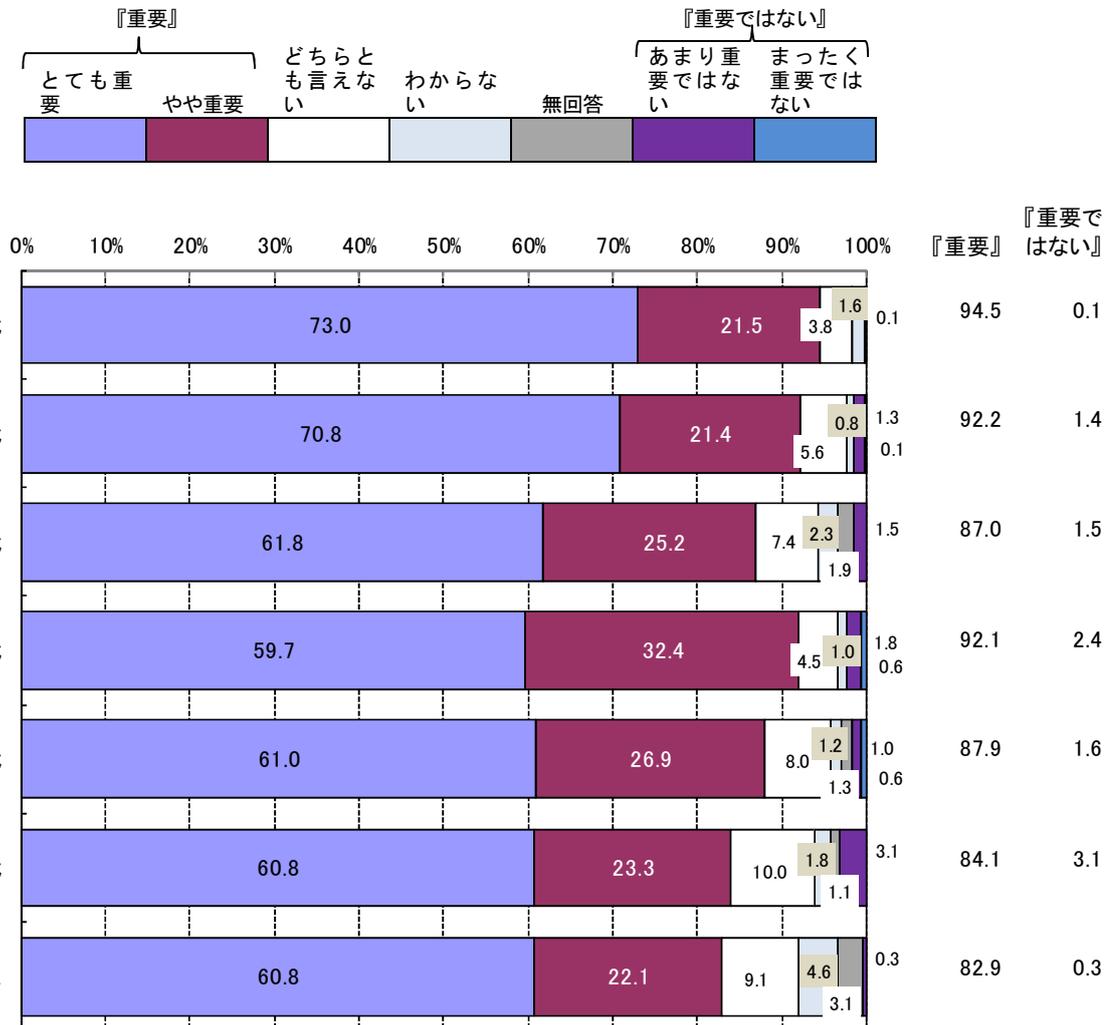
子育てをする人にとっての地域の支えの重要性

問1 あなたは、子育てをする人にとって、地域の支えは重要だと思いますか。（1つ選択）

【全体】



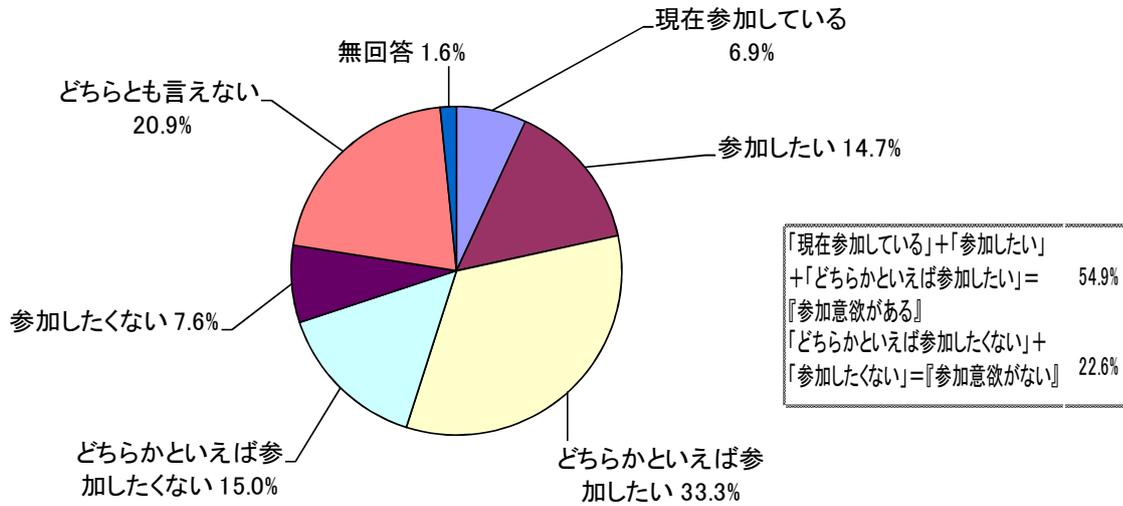
【年代別】



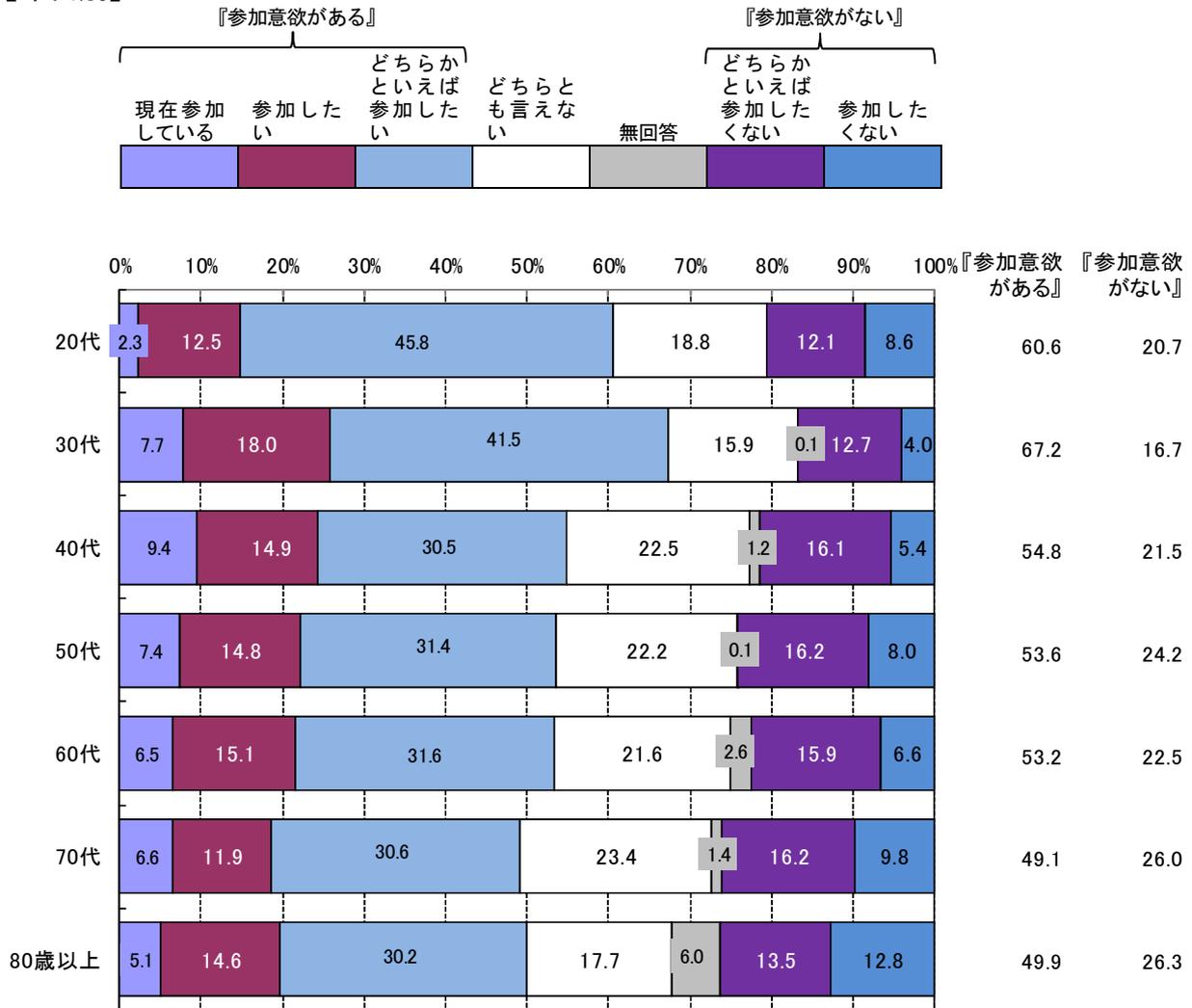
子育て支援活動への参加希望の有無

問2 あなたは、地域で子育てを支える活動に参加したいと思いますか。(1つ選択)

【全体】

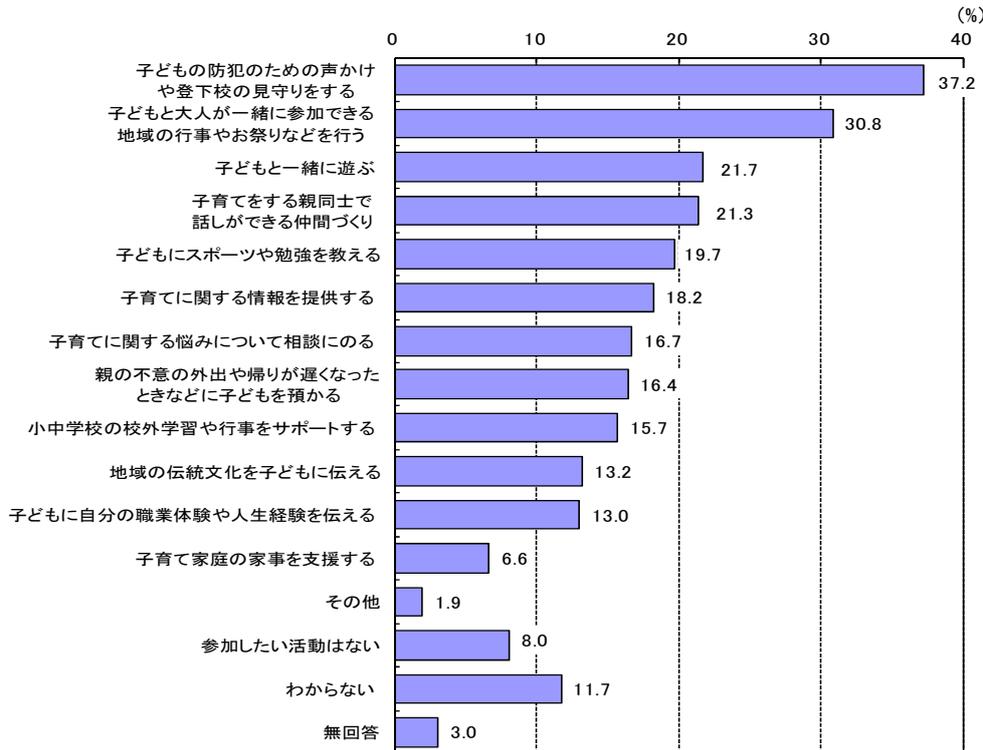


【年代別】



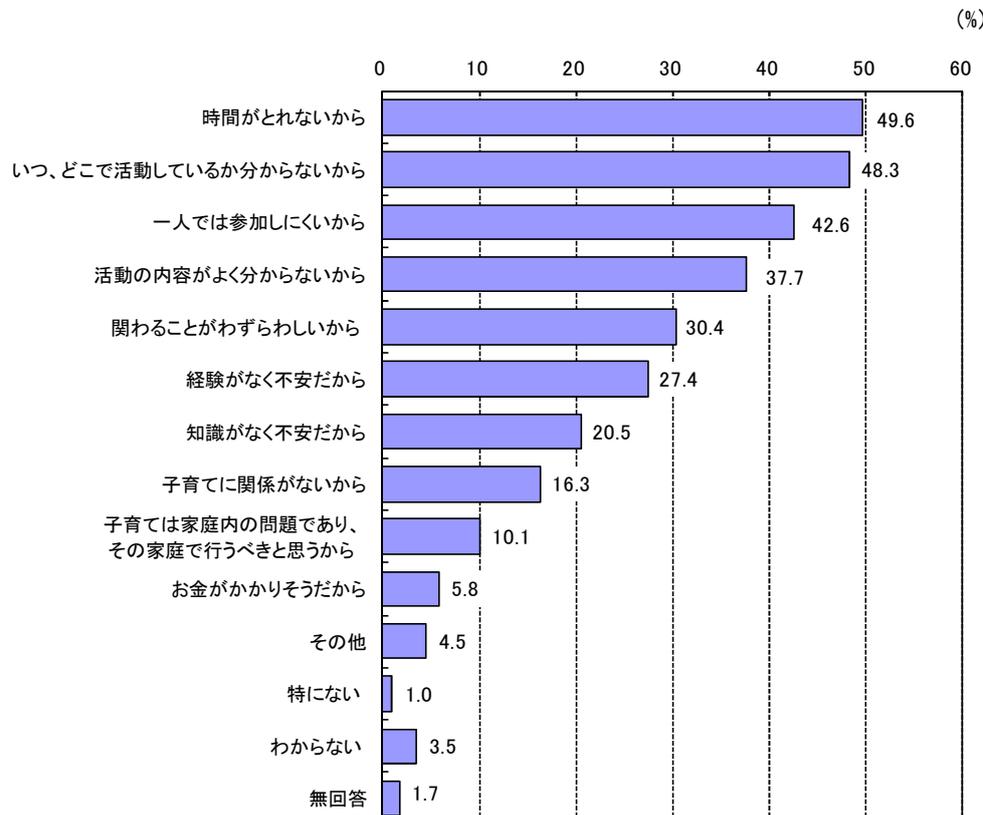
参加したい子育てに関する活動

問3 あなたが参加したいと思う、地域で子育てを支える活動はありますか。（あてはまるものを全て選択。以下「全て選択」という。）



子育て支援活動へ参加しない理由

問4 地域で子育てを支える活動に、参加しない人がいる理由は何だと思えますか。（全て選択）



項目

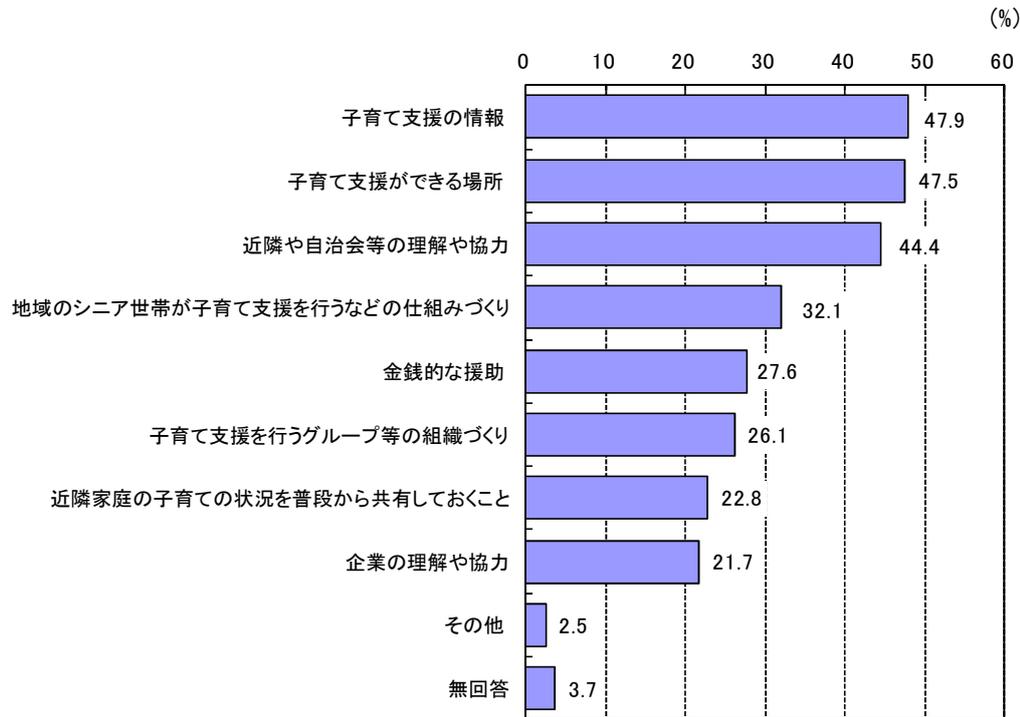
設問及び調査結果

子育てへの地域の支え

地域で子育て支援が活発になるために重要なこと

問5 あなたは、地域で子育てを支える活動が活発に行われるようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(全て選択)



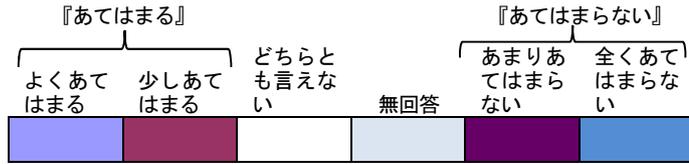
項目

設問及び調査結果

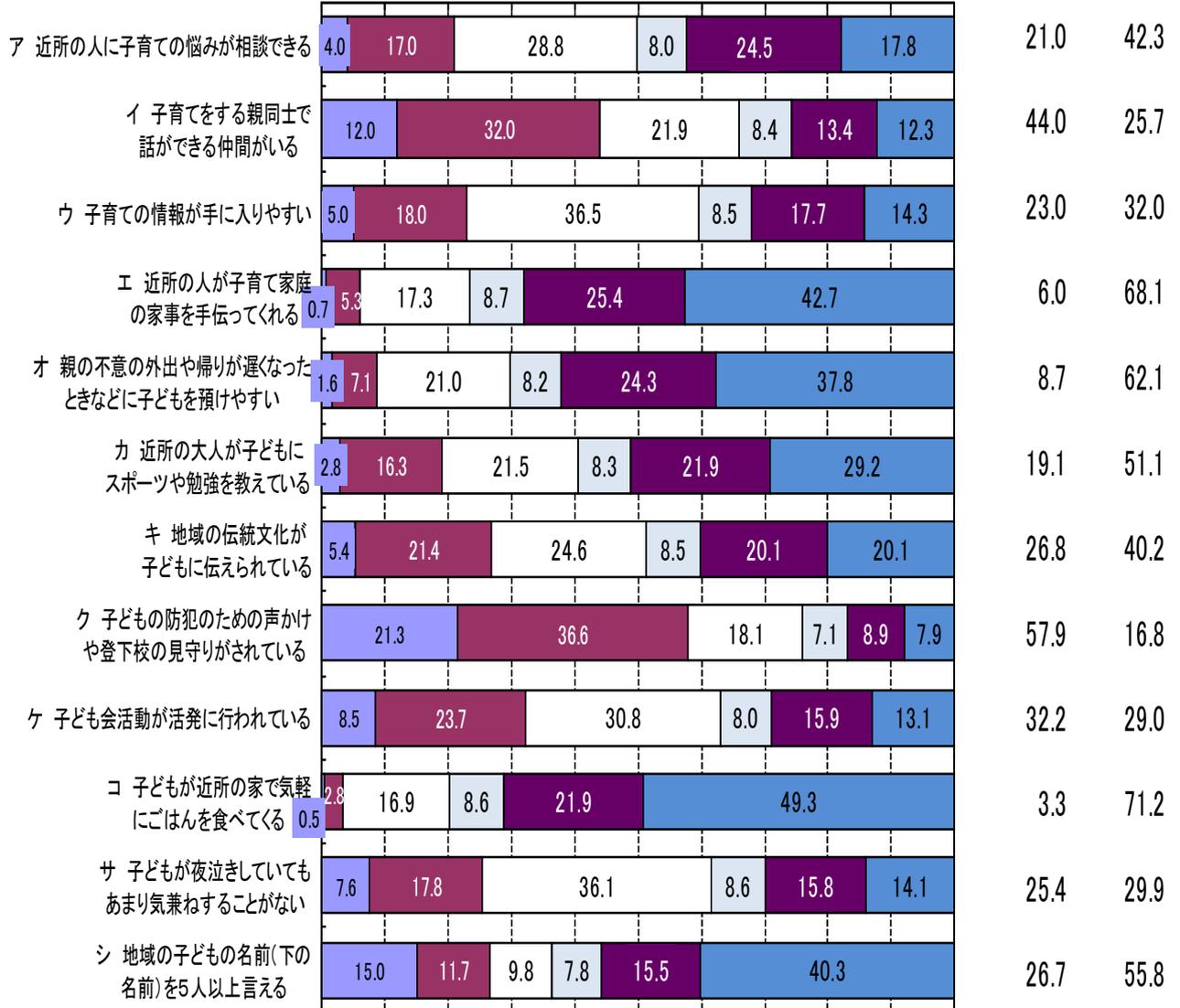
子育てへの地域の支え

地域の子育て環境

問6 あなたがお住まいの地域は、次のようなことが、どの程度あてはまりますか。（それぞれの項目ごとに1つ選択）



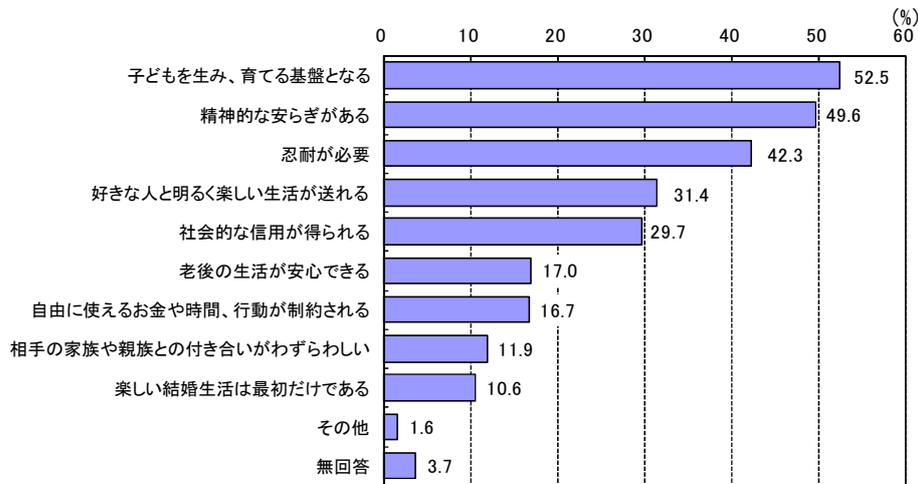
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% 『あてはまる』 『あてはまらない』



結婚観

問7 あなたは、結婚について、どのようなイメージを持っていますか。（3つまで選択）

【全体】



【性別】

(%)

区分	全県	男性	女性	性別間の差
子どもを生み、育てる基盤となる	52.5	49.7	54.2	4.5
精神的な安らぎがある	49.6	51.4	48.6	2.8
忍耐が必要	42.3	36.1	46.6	10.5
好きな人と明るく楽しい生活が送れる	31.4	40.7	25.6	15.1
社会的な信用が得られる	29.7	31.9	28.5	3.4
老後の生活が安心できる	17.0	15.6	17.9	2.3
自由に使えるお金や時間、行動が制約される	16.7	19.8	14.8	5.0
相手の家族や親族との付き合いがわずらわしい	11.9	7.0	15.0	8.0
楽しい結婚生活は最初だけである	10.6	8.7	12.0	3.3
その他	1.6	1.4	1.7	0.3
無回答	3.7	2.2	4.2	2.0

【婚姻別】

(%)

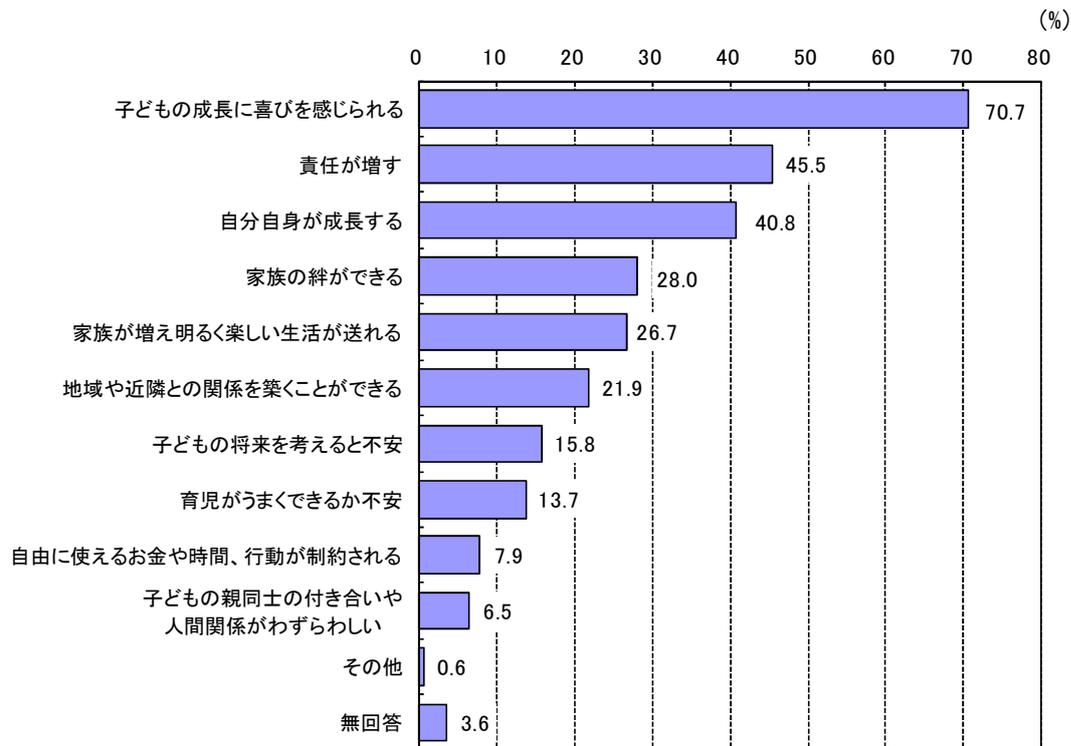
区分	全県	既婚	過去既婚	未婚	婚姻別間の差
子どもを生み、育てる基盤となる	52.5	57.2	44.4	39.0	18.2
精神的な安らぎがある	49.6	52.2	41.6	46.9	10.6
忍耐が必要	42.3	40.9	46.1	49.0	8.1
好きな人と明るく楽しい生活が送れる	31.4	32.8	24.8	31.0	8.0
社会的な信用が得られる	29.7	31.5	32.8	18.8	14.0
老後の生活が安心できる	17.0	16.4	19.4	17.7	3.0
自由に使えるお金や時間、行動が制約される	16.7	14.0	15.7	31.7	17.7
相手の家族や親族との付き合いがわずらわしい	11.9	10.6	12.4	18.3	7.7
楽しい結婚生活は最初だけである	10.6	9.7	15.2	11.5	5.5
その他	1.6	1.4	1.4	2.6	1.2
無回答	3.7	2.6	7.2	2.3	4.9

※「過去既婚」は、「結婚していたが、離別・死別した」の回答者

子育て観

問8 あなたは、義務教育終了までの子育てについて、どのようなイメージを持っていますか。（3つまで選択）

【全体】



【性別】

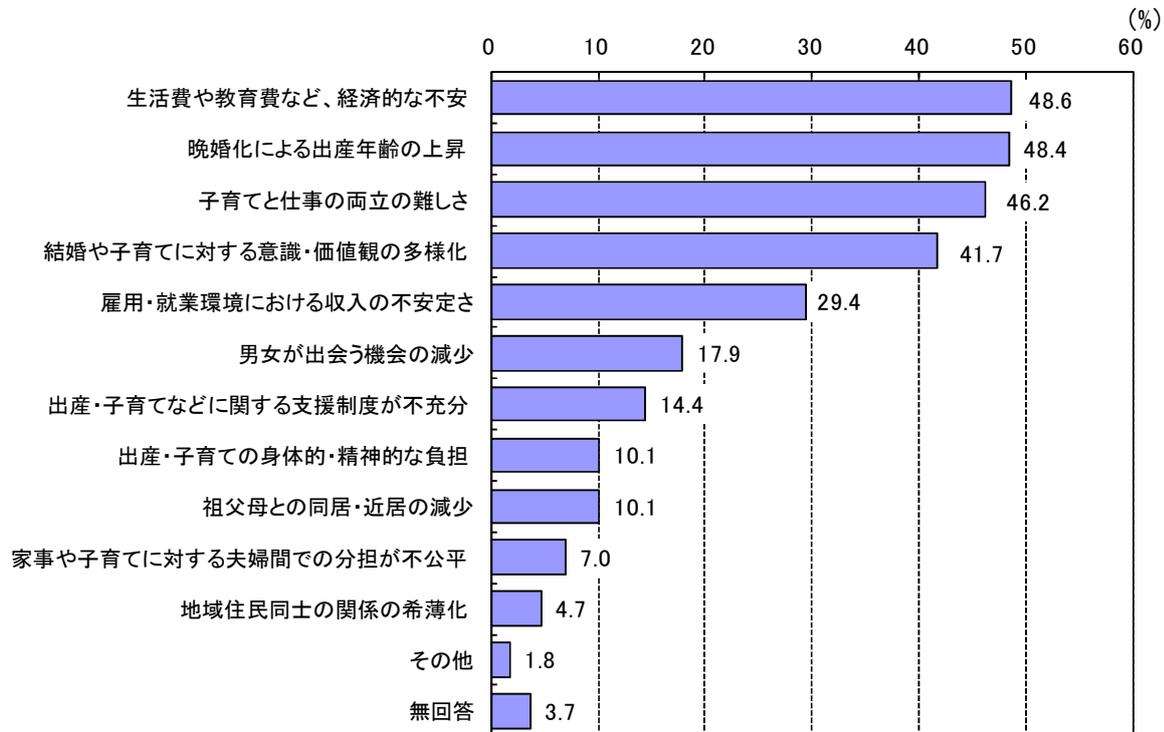
(%)

区分	全県	男性	女性	性別間の差
子どもの成長に喜びを感じられる	70.7	71.3	70.4	0.9
責任が増す	45.5	45.6	45.9	0.3
自分自身が成長する	40.8	33.4	45.9	12.5
家族の絆ができる	28.0	30.9	26.1	4.8
家族が増え明るく楽しい生活が送れる	26.7	34.4	21.8	12.6
地域や近隣との関係を築くことができる	21.9	21.5	22.3	0.8
子どもの将来を考えると不安	15.8	16.1	15.5	0.6
育児がうまくできるか不安	13.7	11.8	15.1	3.3
自由に使えるお金や時間、行動が制約される	7.9	9.6	6.9	2.7
子どもの親同士の付き合いや人間関係がわずらわしい	6.5	3.1	8.6	5.5
その他	0.6	0.3	0.8	0.5
無回答	3.6	2.2	4.1	1.9

少子化の原因

問9 全国的に子どもの数が減少する「少子化」が進んでいる中、あなたは「少子化」となっている主な原因は何だと思えますか。（3つまで選択）

【全体】



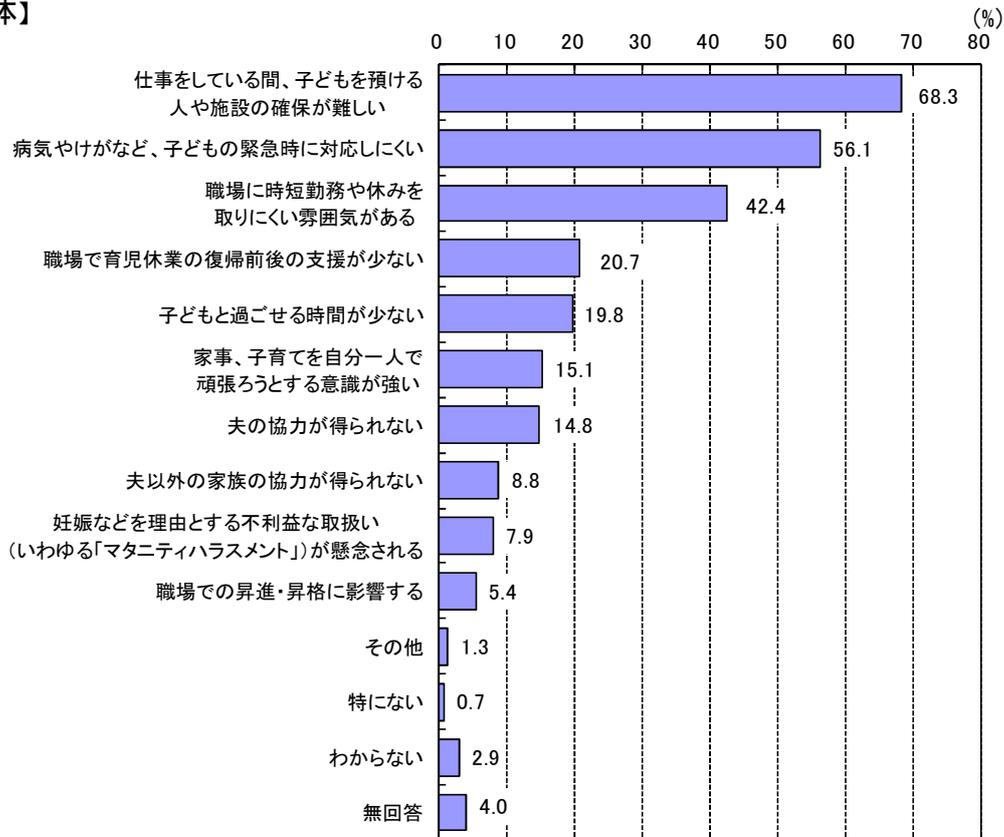
【年代別】

区 分	割合 (%)								
	全県	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	年代間の差
生活費や教育費など、経済的な不安	48.6	61.6	49.1	54.3	54.1	47.5	42.1	29.9	31.7
晩婚化による出産年齢の上昇	48.4	37.0	49.8	48.1	50.0	47.7	53.0	47.6	16.0
子育てと仕事の両立の難しさ	46.2	45.5	53.3	44.5	48.1	48.1	39.2	46.0	14.1
結婚や子育てに対する意識・価値観の多様化	41.7	44.8	42.0	40.4	44.5	43.7	40.1	36.8	8.0
雇用・就業環境における収入の不安定さ	29.4	28.1	32.2	35.2	35.7	28.5	23.8	16.6	19.1
男女が出会う機会の減少	17.9	26.8	11.2	10.8	11.0	21.3	24.7	24.0	16.0
出産・子育てなどに関する支援制度が不十分	14.4	19.3	19.0	15.2	14.4	13.7	11.1	9.8	9.5
出産・子育ての身体的・精神的な負担	10.1	15.3	9.7	10.7	9.0	11.2	7.9	6.9	8.4
祖父母との同居・近居の減少	10.1	5.0	10.4	8.6	6.8	10.7	14.4	12.3	9.4
家事や子育てに対する夫婦間での分担が不公平	7.0	9.0	7.0	12.6	7.4	4.9	4.1	3.8	8.8
地域住民同士の関係の希薄化	4.7	1.9	2.7	4.2	4.0	3.8	8.8	5.6	6.9
その他	1.8	0.1	3.7	2.6	2.9	1.6	0.5	0.1	3.6
無回答	3.7	0.2	0.1	2.0	1.7	3.0	7.1	12.5	12.4

女性が子育てをしながら働く場合に困難な点

問10 女性が子育てをしながら働く場合に、どういった点が困難だと思いますか。（3つまで選択）

【全体】

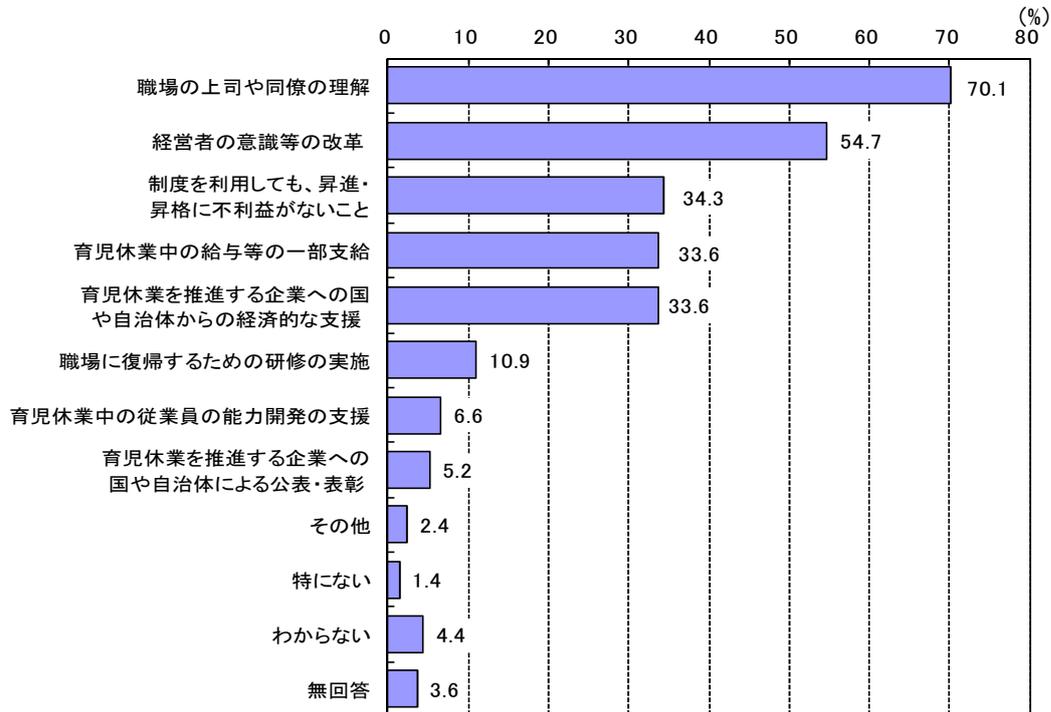


【性別】

区分	全県	男性	女性	性別間の差
仕事をしている間、子どもを預ける人や施設の確保が難しい	68.3	71.9	66.4	5.5
病気やけがなど、子どもの緊急時に対応しにくい	56.1	47.3	61.8	14.5
職場に時短勤務や休みを取りにくい雰囲気がある	42.4	44.7	41.2	3.5
職場で育児休業の復帰前後の支援が少ない	20.7	26.0	17.5	8.5
子どもと過ごせる時間が少ない	19.8	18.4	20.7	2.3
家事、子育てを自分一人で頑張ろうとする意識が強い	15.1	11.0	17.8	6.8
夫の協力が得られない	14.8	13.3	15.7	2.4
夫以外の家族の協力が得られない	8.8	8.6	9.0	0.4
妊娠などを理由とする不利益な取扱い（いわゆる「マタニティハラスメント」）が懸念される	7.9	9.2	7.0	2.2
職場での昇進・昇格に影響する	5.4	7.5	3.9	3.6
その他	1.3	1.4	1.4	0.0
特になし	0.7	0.7	0.7	0.0
わからない	2.9	4.1	2.2	1.9
無回答	4.0	2.6	4.4	1.8

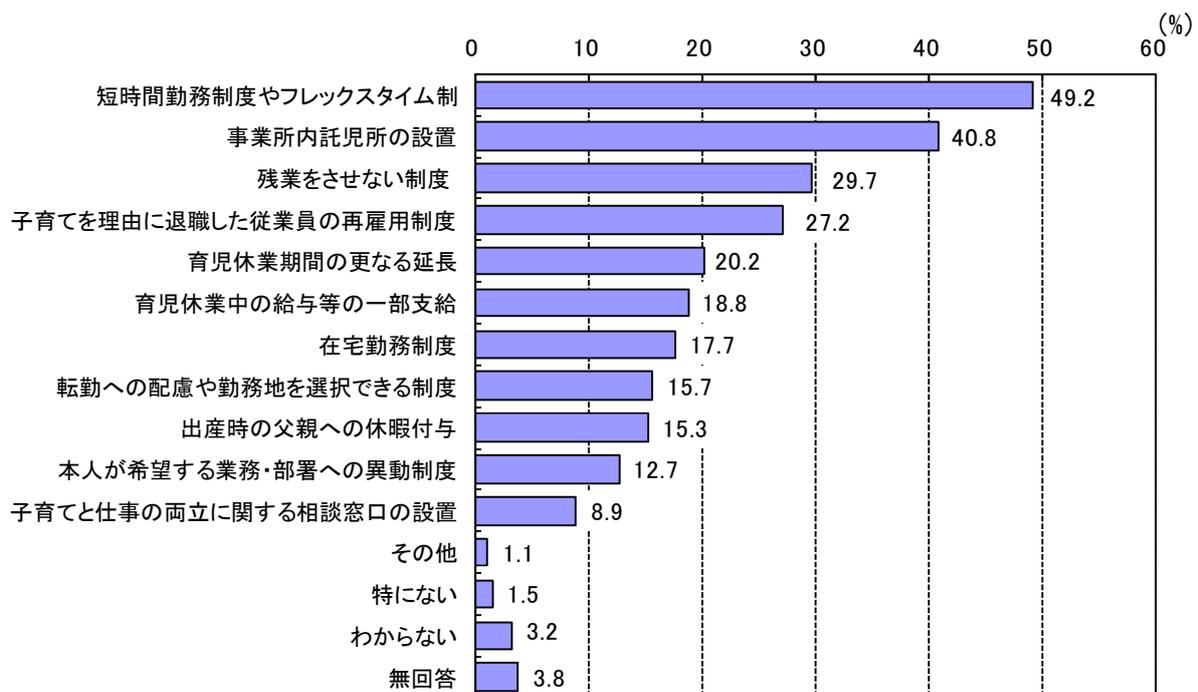
育児休業取得促進に必要なこと

問 11 男女ともに育児休業制度をさらに利用しやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。（3つまで選択）



仕事と子育ての両立を促進する制度

問 12 子どもを育てながら仕事と両立ができる環境づくりを進めていく際、あなたはどのような制度が職場にあれば、より働きやすくなると思いますか。（3つまで選択）



子育て施策の評価

問 13 少子対策・子育て支援として取り組まれている、それぞれの施策について、あなたのお考えに近いものはどれですか。
(それぞれの項目ごとに1つ選択)

